

ライフステージごとの教員育成指標【栄養教諭】（試行版）

群馬県の教員としての基礎的素養

教育的愛情・情熱

使命感・責任感

規範意識・人権感覚

コミュニケーション能力

学び続ける姿勢

ステージ		教職課程修了時	キャリア段階Ⅰ 基礎形成期	キャリア段階Ⅱ 資質向上・充実期	キャリア段階Ⅲ 資質発展・円熟期	
項目						
栄養教諭専門領域	食に関する指導	給食の時間の指導	○学習指導要領に基づいた学校給食の役割を理解し、学級担任と連携して指導を行う姿勢を身に付けている。	○学校教育目標に基づいた食に関する全体計画や年間指導計画を作成し、学校給食を教材とした指導を行う。	○児童生徒の食に関する実態を把握し、発達の段階に応じた食に関する指導を学級担任と連携して行う。	○地域の食文化や産業等を理解し、関係者と連携した食に関する指導を行うとともに、その中核を担う。
		教科等における指導	○教育活動全体を通して食育を推進することの重要性や栄養教諭の役割を理解し、授業へ参画する姿勢を身に付けている。	○教科や学級活動のねらいを理解し、関係職員と連携して食育の視点を明確にした指導や資料提供を行う。	○児童生徒の日常生活や健康状態を把握し、教科のねらいに沿った食に関する指導を適切に行う。	○教科等横断的な視点を持ち、専門性の高い、計画的・組織的な指導を実施する。
		個別的な相談指導	○児童生徒の食に関する健康課題について理解し、専門性を生かして対応する姿勢を身に付けている。	○食に関する健康課題について、児童生徒の思いや保護者の思いを受け止めながら、関係教職員と連携して相談指導を行う。	○児童生徒や保護者との連携・協働を深め、生活状況や発達の段階等を考慮し、家庭への支援を行う。	○食に関する健康課題について、関係機関等との連携を含めた組織的な相談指導体制の中核を担う。
	○食物アレルギー等の健康課題を把握し、学級担任や養護教諭、管理職等と連携して組織的に対応する。					
	学校給食の管理	栄養管理	○学校給食実施基準を理解し、献立作成に関する基礎的な知識を有し、栄養管理に取り組む姿勢を身に付けている。	○地場産物など多様な食品を適切に組み合わせた食品構成となるように、献立を作成する。	○食に関する指導の全体計画や年間指導計画等と関連付けた創意工夫ある献立を作成する。	○児童生徒の実態や地域の健康課題を把握して適切な栄養管理を行うとともに、校内組織や家庭への積極的な情報提供を行う。
		衛生管理	○学校給食衛生管理基準を理解し、基準を遵守できるように、適正に対応する姿勢を身に付けている。	○日常的に安全や衛生に配慮した環境整備を行うとともに、事故の未然防止に努める。	○衛生管理について、調理従事者や教職員へ適切に指導・助言を行うなど、危機管理体制の整備をする。	○衛生管理体制や作業区分等について総合的に評価し、課題の改善を図る。
生徒指導等	児童生徒理解	○児童生徒と積極的に関わり、一人一人のよさを見付けることができる。	○受容的・共感的な態度で児童生徒に接し、一人一人の状況を理解する。	○学年や学校の生徒指導上の課題を踏まえ、一人一人の悩みや不安等を理解する。	○児童生徒を取り巻く環境の変化等を踏まえ、学校全体の児童生徒の状況や課題を多面的に把握する。	
	○カウンセリングマインドをもって児童生徒を理解し、信頼関係を築く。					
	個への指導・支援	○児童生徒の実態や発達の多様性を認めるとともに、生徒指導の意義を理解している。	○児童生徒の個別の課題を理解し、問題行動や学習・生活上の困難の早期発見・即時対応を行う。	○児童生徒が抱える課題や困難を分析し、学年組織を生かして自己指導能力を高める取組を行う。	○部会等を機能させ、担当者間の調整を図りながら、組織的な指導・支援を推進する。	
○報告・連絡・相談を密にし、他の教職員や保護者、医療等の関係機関と情報の共有を図る。						
学校経営	組織的な取組	○周囲と連携・協力して物事に取り組む姿勢を身に付けている。	○組織の一員としての自覚を持ち、連携・協力しながら自分の役割を果たす。	○関係する分掌の担当者等と組織的な連携を図り、具体的な支援や提案を行う。	○工夫改善や精選の視点をもって様々な組織等と調整を図りながら、解決策を企画し提案する。	
	○OJTを推進し、周囲の教職員の資質向上に向けて指導・支援を行う。					
	保護者や地域等との連携・協働	○保護者や地域等と連携した教育活動の意義を理解している。 ○郷土の歴史や文化、生活等について理解している。	○保護者や地域等との連携の重要性を認識し、適宜、家庭との情報の共有を図る。	○保護者や地域等との連携を深め、必要に応じて関係機関と協働して対応する。	○学校の課題を把握し、保護者や地域、関係機関等との協働体制を構築する。 ○地域の歴史や産業等を理解し、地域への愛着等を育む指導に生かす。	
	危機管理	○安全な教育環境の整備について、基本的な知識を身に付けている。	○危機管理マニュアル等に基づき、事案発生時の対応方法について理解する。	○危機を予測して未然防止を図るとともに、事案発生時には連絡・調整役として迅速に行動する。	○校内の危機管理体制を点検し、事故等の未然防止に向けて周囲に具体的な指示や助言を与える。	

※上位のステージでは、下位のステージにおける指標の内容も求められます。